

住民意向調査速報版（富岡町）の公表について

原発事故による避難者等に対する住民意向調査について、富岡町の住民を対象とした調査結果を取りまとめました。

1. 調査概要

富岡町

調査主体	復興庁、福島県、富岡町
調査対象	全世帯主（6,748世帯）
実施期間	平成30年8月20日～9月3日
回答者数	2,992世帯（回収率44.3%）

2. 調査結果のポイント

別紙のとおり

本件連絡先
（原子力災害復興班）担当：中島
電話：03-6328-0250（直通）

富岡町調査結果のポイント

- ・将来の帰還意向やその判断の前提となる情報、帰還した場合に行政に望む支援等の把握を目的に実施。
- ・復興庁、福島県、富岡町の共同調査は7回目。
- ・帰還の意向については、平成29年度の調査と比べて、
 - ・「既に富岡町で生活している」及び「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」の合算が15.1%に増加（+1.1%）。
 - ・「戻りたいが、戻ることができない」及び「まだ判断がつかない」の合算が35.2%に減少（▲2.7%）。
 - ・「戻らないと決めている」が増加（+1.3%）。

(1) 帰還の意向

既に富岡町で生活している	5.2% (2.9%)
戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)	9.9% (11.1%)
戻りたいが、戻ることができない	18.4% (20.2%)
まだ判断がつかない	16.8% (17.7%)
戻らないと決めている	48.1% (46.8%)

※(カッコ)書きは、それぞれ前回調査(H29.8)結果

(2) 帰還を判断するために必要なこと（上位抜粋）

医療機関(診療科)の拡充	50.7%
商業施設の充実	39.4%
どの程度の住民が戻るかの状況	39.2%
介護・福祉施設の充実	33.6%
働く場の確保の見通し	30.0%

※帰還の意向で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ回答

(3) 戻らないと決めている理由（上位抜粋）

すでに生活基盤ができているから	60.4%
避難先の方が、生活利便性が高いから	40.4%
原子力発電所の安全性に不安があるから	36.2%
医療環境に不安があるから	32.4%
水道水などの生活用水の安全性に不安があるから	27.4%

※帰還の意向で「戻らないと決めている」と回答した方のみ回答

(4) 富岡町とのつながりを保ちたいか

そう思う	55.3%
わからない	30.3%
そう思わない	6.7%

※帰還の意向で「戻りたいが、戻ることができない」「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ回答